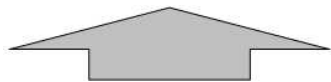


事務事業名 子ども会リーダースクール事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：668

施策：	03	子ども・若者の健全育成	財務コード	01090603-19-553
基本事業：	01	子ども・若者の学習機会・体験活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	家庭・地域での子どものための活動が充分だと思える市民の割合 学校の授業以外で体験活動をしている児童の割合 学校の授業以外で体験活動をしている生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成19年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市内の小学4・5年生 （次年度の子ども会役員の対象となる学年）		【手順】 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会（「市子連」）と研修内容の検討 講師依頼・打合せ 各子ども会育成会（市子連未加入を含む）に開催案内。参加者のとりまとめ 集合研修（1日）を開催。終了後に参加者全員に修了証を交付				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【内容】 子ども会リーダーの基礎知識の学習や企画立案力を養成するため、以下の内容の座学、グループワークなどを行う。 ・子ども会、育成会とは ・子ども会リーダーとその役割とは ・子ども会活動の意義 ・レクリエーション（KYT含む） ・子ども会行事の企画立案方法				
子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営されるようにする。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
スクール参加者数	人	18	13	50	50			50
スクール参加者のうち、子ども会役員になった人数	人	15	10	40	40			40

5. コスト								
事業費	計	千円	33	40	71	71		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	33	40	71	71		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1			
正職員人件費		千円	782	802	838			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	815	842	909	71		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	スクール参加者数は5名減、役員になった人数は5名減となった。引き続き、事業の周知や内容の改善に努める。なお、育成会（大人）にも学んでもらう機会とするため、育成会にも参加を呼びかけた結果、R6年度は子どもの参加者13人の他、育成会からも12人の参加があり、大人にとっても、子ども会のあり方を学ぶ研修となった。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）

改善方向性 維持 見直し 廃止 事業終了

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）

リーダースクール事業の目的である「子どもが主体となる子ども会活動」を推し進めるため、市子連に加入しているかどうかに関わらず参加案内を行っている。育成会の参加も継続し、各子ども会育成会からの参加を促す。また、計画した行事の実施状況を把握し、活動報告等を発信し、事業の啓発を行う。

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）

備考・特記事項 or 進行管理欄

積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を目的として平成19年度から事業を開始した。